

CCRCとは…アメリカ発祥の考え方で、高齢者が元気なうちに地方に移住して社会活動に参加し、介護や医療が必要になった場合もケアを受けて暮らし続けることができる生活共同体です。
※CCRCは、「Continuing Care Retirement Community」の略です。

生涯活躍のまちづくりを目指して 新たな取り組みが始まります



生涯活躍のまち

秩父市では、誰もが活躍できるまちづくりのため、「生涯活躍のまちづくり」に取り組んでいます。

●生涯活躍のまち（日本版CCRC）構想

「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想は、東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指すものです。

国においては、「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想が日本版CCRC構想有識者会議によって取りまとめられました。

構想の意義としては、次の3点が挙げられています。

- ① 中高年齢者の希望の実現
- ② 地方への人の流れの推進
- ③ 東京圏の高齢化問題への対応

●秩父市における位置付け

秩父市は、日本創成会議による消滅可能性都市の一つに挙げられているほか、若者などの流出

よって人口減少が進行しています。そこで、地域の実情に応じた「生涯活躍のまちづくり」の推進を図ることにより、秩父市の人口対策および地域活性化を図ることとします。

なお、検討に当たっては「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想を踏まえるとともに、これまでにさまざまな分野で連携を図ってきた、秩父市の姉妹都市である東京都豊島区との連携や、ちちぶ定住自立圏構想を十分に踏まえて検討を行います。

豊島区とのワークショップ

「生涯活躍のまちづくり」の検討にあたり、都市部住民との交流を進めています。その一環として、豊島区が今年7月から開催している「地方居住を考えるワークショップ」に参加し、豊島区住民との意見交換を行っています。



これまで開催されたワークショップでは、豊島区参加者の秩父市訪問や、お互いのまちの魅力発掘や住みたいまちづくりをテーマにした議論が実施されています。

秩父市生涯活躍のまちづくり構想

「生涯活躍のまちづくり」への取り組みの基礎として、「秩父市生涯活躍のまちづくり構想（秩父版CCRC構想）」を策定します。

●構想策定の目的

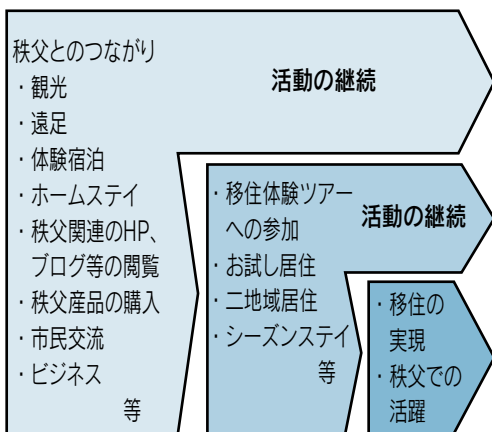
交流・移住の強化方針として、「豊富な地域資源を活用した新しいひとの流れをつくる」を進めていきます。

●「秩父版」のポイントは「二地域居住」

移住相談やお試し居住などのサービス提供による二地域居住を、空き家バンク制度やシェアハウスなど、さまざまな形で受け入れます。

秩父との「つながり」をつくった上で、お試し居住や二地域居住による秩父での「体験」によって、最終的な移住に結びつけます。

☎地域政策課 22-2823



皆さんのご意見を

お寄せください！

秩父市パブリックコメント手続き

計画策定
秩父市生涯活躍のまちづくり構想（案）

生涯活躍のまちづくりを推進するため、「秩父市生涯活躍のまちづくり構想（秩父版CCRC構想）」を策定します。この構想は、市の今後の推進体制の基本となることから、ご意見を募集します。

公表期間

10月20日（木）～11月21日（月）

公表場所

- ・市HPへの掲載
- ・歴史文化伝承館1階「情報提供コーナー」、2階地域政策課、吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課での閲覧
- ・秩父図書館、荒川図書館で閲覧

意見募集期間

10月20日（木）～11月21日（月）

意見の提出方法・提出先

- ・地域政策課、吉田・大滝・荒川総合支所市民福祉課窓口へ文書で提出
- ・地域政策課へ☎・☒で提出
- ・何でも投書箱へ投函

☎地域政策課 22-2823

☎24-7272

✉seisaku@city.chichibu.lg.jp

お手持ちのパソコン、タブレット、スマートフォンなどから

「ゆるキャラ® グランプリ2016」公式ホームページにアクセスしてください。